

令和2年度 湧水地調査報告書



滝不動尊【一時水】(狭山市笹井)

令和4月3日

埼玉県環境部水環境課

はじめに

湧水は、水路や河川の水源であるとともに、地域の生態系の形成に重要な役割を担っています。また、生活に不可欠な「水」が湧き出る場所として地域の憩いの場や信仰の対象になるなど、住民にうるおいや安らぎを与えてきました。

しかしながら、都市化の影響や土地の開発に伴う土地利用の変化などから、多くの湧水で湧水量の減少や湧水そのものの消失、あるいは水質の悪化などの問題が生じています。また、水道の普及などにより湧水と住民との直接的な関わりが薄れ、湧水の重要性に対する認識が希薄化するなど、湧水を取り巻く環境の変化は年々厳しさを増してきています。

県では、平成3年度に全県域を対象とした湧水分布調査で229地点の湧水を確認し、湧水マップを作成しました。また、平成15・16年度には、湧水地が豊富な武蔵野台地北部周辺及び櫛引・本庄台地周辺で住民参加による分布調査を行いました。

これらの調査では、一般には知られていなかった湧水地が明らかになった一方で、枯渇してしまった湧水地の存在も多く判明しました。

その後、平成25年度から現在まで、武蔵野台地北部に位置する新河岸川流域や秩父地域、比企地域の湧水地等を対象として、湧水の周辺環境や水質を確認するための湧水調査を実施してきました。これらの調査では、どの湧水も表流水と比較すると水質は良好であり、河川に流れ込み水質の改善に寄与していることが判明しました。

令和2年度は、山地があり湧水地の存在が見込める入間市及び狭山市で調査を実施しました。本報告書は、当該調査の結果をまとめたものです。

湧水に対する県民の意識の向上を図り、湧水地の保全を促進する一助となるよう、これまでの調査結果は県ホームページで公開し、それらの情報をもとにした電子版湧水地マップも作成・公開しています。

今後も、地域のみなさまと協働し、湧水地の保全に取り組んで参ります。

埼玉県環境部水環境課長 山井 毅

目次

1	調査目的	2
2	調査対象地域	2
3	調査地点	2
4	調査実施体制	4
	(1)調査地点選定	4
	(2)現地調査	4
	(3)水質分析	4
5	調査内容	4
	(1)調査日	4
	(2)調査項目	4
	ア 現地調査項目	4
	イ 水質分析項目	4
	(3)調査手順	5
	ア 調査地点選定	5
	イ 現地調査	5
	ウ 水質分析	5
6	調査結果	5
	(1)現地調査結果	5
	(2)水質分析結果及び考察	9
7	現地調査記録票	13
8	写真	23

1 調査目的

本調査は、湧水地の周辺状況や水質等、湧水の現況を把握するために実施するものである。さらに、結果の公表と湧水地の紹介をすることで県民の環境意識の醸成を図り、湧水池のさらなる保全活動の促進を目的とする。

2 調査対象地域

今回の調査対象地域は、山地があり湧水地の存在が見込まれる入間市及び狭山市とした。

3 調査地点

調査地点は、次の9地点（表1、図1）とした。

表 1

令和2年度湧水地調査地点一覧

市町村名	地点 No.	所在地	名称
入間市	1	野田地内	谷田の泉
入間市	2	野田地内	野田河川公園の湧水
入間市	3	野田地内	滝不動の湧水
入間市	4	野田地内	円照寺の弁天池
入間市	5	牛沢町地内	ホタルの里
入間市	6	下谷ヶ貫地内	醤油屋の池
狭山市	7	笹井地内	滝不動尊（一時水）
入間市	8	野田地内	野田の湧水
狭山市	9	下奥富地内	広福寺

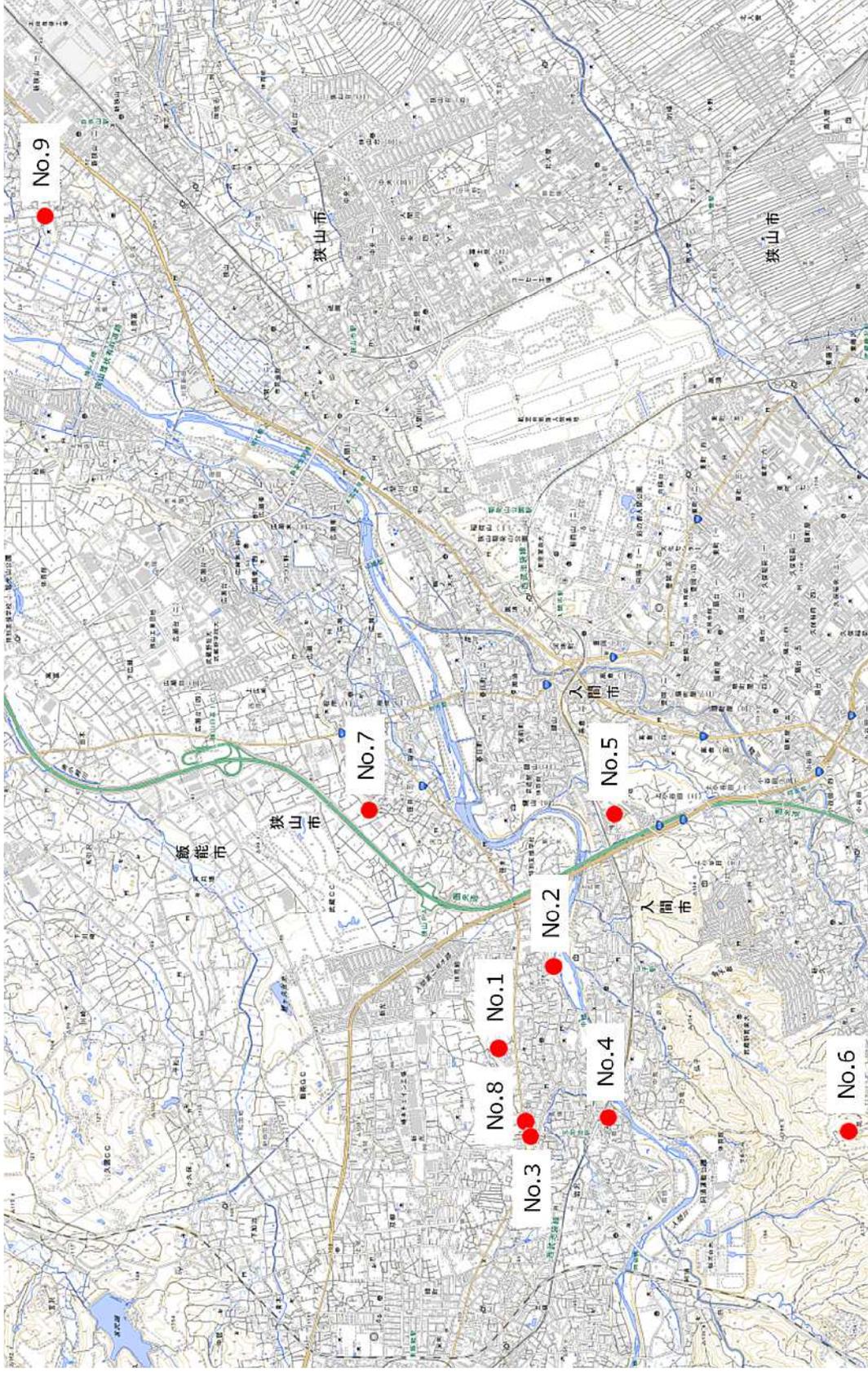


図1 調査地点図 (No.1～9)

4 調査実施体制

(1)調査地点選定：調査対象地域の市の協力のもと、水環境課が実施。

(2)現地調査：水環境課及び環境科学国際センターが実施。

(3)水質分析：環境科学国際センターが実施。

5 調査内容

(1)調査日

令和2年11月30日(月)

(2)調査項目

ア 現地調査項目

- ・所在地情報(緯度経度、周辺の状況、利用状況)
- ・気温
- ・水温
- ・外観(色、臭気)
- ・湧水量
- ・pH
- ・EC(電気伝導度)
- ・ORP(酸化還元電位)
- ・DO(溶存酸素量)

イ 水質分析項目

- ・濁度
- ・透視度
- ・TOC(全有機炭素数)
- ・大腸菌群数
- ・大腸菌
- ・金属類<鉄(Fe)、マンガン(Mn)、アルミニウム(Al)、ケイ素(Si)>
- ・陽イオン<ナトリウムイオン(Na^+)、カリウムイオン(K^+)、カルシウムイオン(Ca^{2+})、マグネシウムイオン(Mg^{2+})>

- ・ 陰イオン < 塩化物イオン (Cl^-)、硫酸イオン (SO_4^{2-}) >
- ・ 硝酸態窒素 ($\text{NO}_3\text{-N}$)
- ・ 亜硝酸態窒素 ($\text{NO}_2\text{-N}$)
- ・ アンモニア態窒素 ($\text{NH}_4\text{-N}$)

(3)調査手順

ア 調査地点選定

市町村保有情報等を参考に調査対象地点を選定した。

イ 現地調査

湧水をポリ瓶に採取し、現地調査項目の計測等の結果を記録した。

ウ 水質分析

- ・ イで採取した湧水について、環境科学国際センターが水質分析を実施した。
- ・ 採取した湧水は冷温条件下で実験室に持ち帰り、濁度、TOC、大腸菌群数、大腸菌、金属類の分析をした。
- ・ 陽イオン、陰イオンは孔径 $0.2\ \mu\text{m}$ のシリンジフィルターで濾過した試料を適宜希釈し、イオンクロマトグラフィーで測定した。

6 調査結果

(1)現地調査結果

現地調査の結果は表 2、3 及び別添資料「現地調査記録票」のとおり。

現地調査の結果を表 2 に示す。地点 No.5,9 では湧出点を確認できなかったが、地点 No.5 はため池の下流から、No.9 は竹筒から湧水を採取できる形態だったため、容器計量により湧水量を測定した。

現地測定の結果を表 3 に示す。これらの項目は全て一般的な水質の範囲内であった。

表 2

現地調査結果 (1/2)

地点 No		1	2	3	4	5
調査地点周辺の状況	土地の状況	公有地	公有地	寺社	寺社	公有地
	地質	段丘堆積物	段丘堆積物	段丘堆積物	段丘堆積物	段丘堆積物
	地形	更新世段丘	更新世段丘	更新世段丘	更新世段丘	更新世段丘
	植生	植林地、耕作地植生	植林地、耕作地植生	-	-	ヤブツバキクラス域代償植生
湧水の状況	湧水利用状況	雑用水	不明	池	池	池
	湧出点の目視	可	可	可	可	不可
	湧水量	116 L/分	3.51 L/分	2.32 L/分	4.96 L/分	3 L/分
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理している湧水である。 ・採取地点は通常時立入禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理している公園内の湧水である。 ・採取地点付近にマムシに注意の看板がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・滝不動尊付近の崖から湧出し、崖下まで流れている。 ・採取地点の崖下続く階段はもろくなっており、通常立入禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円照寺境内にある弁天池の水が湧水である。 ・弁財天堂西側の池の最北端で湧出が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流からの湧水を下流でため池にし、希少植物等を保護している。 	

注1 「地質」は産総研「20万分の1日本シームレス地質図 V2」から判断

注2 「地形」は地理院地図「数値地図 25000 (土地条件)」から判断

注3 「植生」は自然環境調査 Web-GIS「1/25,000 植生図」から判断

注3 「湧水利用状況」は管理者からの聞き取りに基づき記載

注4 「湧水量」は測定ができない場合は目視により判断

注5 「備考」は管理者からの聞き取り情報、現地調査時の状況確認結果等に基づき記載

現地調査結果 (2/2)

地点 No		6	7	8	9
調査地点周辺の状況	土地の状況	公有地	寺社	公有地	寺社
	地質	段丘堆積物	段丘堆積物	段丘堆積物	段丘堆積物
	地形	山地斜面等	山地斜面等	更新世段丘	更新世段丘
	植生	植林地、耕作地植生	植林地、耕作地植生	植林地、耕作地植生	-
湧水の状況	湧水利用状況	池	不明	不明	池
	湧出点の目視	可	可	可	不可
	湧水量	1.66 L/分	84 L/分	0.78 L/分	2.4 L/分
備考	<p>・市の農村環境改善センターの敷地内にある池の水が湧水である。</p> <p>・池の壁面の塩ビ管から湧水が確認できる。</p>	<p>・滝不動尊のそばに流れる湧水。</p> <p>・住宅街にあり、駐車スペースはない。</p>	<p>・事業所の裏に湧出箇所があり、市が管理する水路に流れ出ている。</p>	<p>・広福寺の境内には池が複数あり、池の水はくみ上げた地下水である。</p>	

注1 「地質」は産総研「20万分の1日本シームレス地質図 V2」から判断

注2 「地形」は地理院地図「数値地図 25000 (土地条件)」から判断

注3 「植生」は自然環境調査 Web-GIS「1/25,000 植生図」から判断

注3 「湧水利用状況」は管理者からの聞き取りに基づき記載

注4 「湧水量」は測定ができない場合は目視により判断

注5 「備考」は管理者からの聞き取り情報、現地調査時の状況確認結果等に基づき記載

表 3

現地測定結果

地点 No	気温 []	水温 []	透視度 [cm]	色	臭気	pH	EC [mS/m]	ORP [mV]	DO [mg/L]
1	15.0	17.93	>100	無色透明	無臭	6.25	18.21	286	6.89
2	16.7	18.33	>100	無色透明	無臭	7.43	18.15	221	8.90
3	16.0	19.27	>100	無色透明	無臭	6.28	18.44	253	7.34
4	12.0	18.55	>100	無色透明	微川藻臭	6.39	20.4	258	4.57
5	9.5	7.50	>100	無色透明	無臭	7.53	19.3	210	10.12
6	13.1	14.66	>100	無色透明	無臭	6.25	7.86	189	6.85
7	15.4	17.69	>100	無色透明	無臭	5.99	17.98	267	7.91
8	15.9	19.02	>100	無色透明	無臭	6.56	19.50	276	8.16
9	9.1	17.29	>100	無色透明	無臭	7.02	23.0	244	4.44

(2)水質分析結果及び考察

水質分析の結果は表4～6のとおり。水質項目のうち、表4に示した項目は全て一般的な水質の範囲内であった。

No.5はpH、DO、濁度、TOCが他の試料に比べてやや高い濃度になった。これは湧水の湧出点周囲が立ち入り禁止であり、湧出点から試料採取地点まで水路を流下する過程で影響を受けたものと考えられる。

No.6はECが非常に低い特徴を有していた。これは雨が地上に降り注いでから短時間の内に湧出し、土壌からの影響が軽微であったためであると推定される。

表 4

水質測定結果

地点 No	pH	EC [mS/m]	ORP [mV]	DO [mg/L]	濁度 [NTU]	透視度 [cm]	TOC [mg/L]
1	6.25	18.2	286	6.9	1.03	>100	0.4
2	7.43	18.1	221	8.9	1.96	>100	0.7
3	6.28	18.4	253	7.3	0.64	>100	0.2
4	6.39	20.4	258	4.6	0.00	>100	0.5
5	7.53	19.3	210	10	3.06	>100	1.7
6	6.25	7.9	189	6.9	0.64	>100	0.2
7	5.99	17.9	267	7.9	0.00	>100	0.2
8	6.56	19.5	276	8.2	0.00	>100	0.2
9	7.02	23.0	244	4.4	0.00	>100	0.1

表5に含有イオン類の分析結果を示す。すべての試料から、亜硝酸性窒素ならびにアンモニア性窒素は検出されなかった。硝酸性窒素も2mg/Lを下回る値となっており、環境基準値（亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素として10mg/L）を下回った。カリウムはNo.2及びNo.4で検出された。カリウムは土壌との接触時間や、涵養域で使用された肥料の影響により濃度が高まる可能性が指摘されているが、No.2及びNo.4のみで検出された理由は不明である。No.6の湧水は水質測定の結果、ECが非常に低いという特徴を有しており、EC値が示すとおり、他の湧水に比べて含有されるイオン類の濃度が低かった。

表 5

水質測定結果

地点 No	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻	NO ₂ -N	NO ₃ -N	NH ₄ -N	SO ₄ ²⁻
1	2.4	<0.1	12	10.2	7.0	<0.005	1.3	<0.1	38
2	1.0	1.5	20	5.0	6.0	<0.005	1.2	<0.1	28
3	3.5	<0.1	16	7.8	8.0	<0.005	1.1	<0.1	32
4	3.2	3.0	24.4	3.6	7.5	<0.005	1.2	<0.1	26
5	10.5	<0.1	12.5	5.6	23.1	<0.005	0.6	<0.1	22
6	<0.04	<0.1	3.8	3.7	<0.04	<0.005	<0.04	<0.1	<0.2
7	2.7	<0.1	11.0	10.7	8.0	<0.005	1.7	<0.1	34
8	4.8	<0.1	15.8	8.5	10.0	<0.005	1.5	<0.1	37
9	12.8	<0.1	18.2	8.9	19.4	<0.005	1.6	<0.1	5

数値の単位は mg/L

表5の測定結果に補足項目として測定した重炭酸イオン濃度の結果を合わせたトリリニアダイアグラム（図2）上ではNo.1～4、No.7、No.8のプロットが近接し、No.5、No.6、No.9は分散していた。

各調査地点の位置を土地条件図上にプロットしたものを図3～5に示す。トリリニアダイアグラム上で互いに近接していたNo.1～4、No.7、No.8の湧水はいずれも入間川左岸の飯能台地の縁に位置する点で共通している。一方No.5、No.6、No.9はいずれも入間川右岸側の湧水であり、図2における各湧水のプロット位置の違いは、これらの涵養域の土壤特性の差異を示していると推察される。

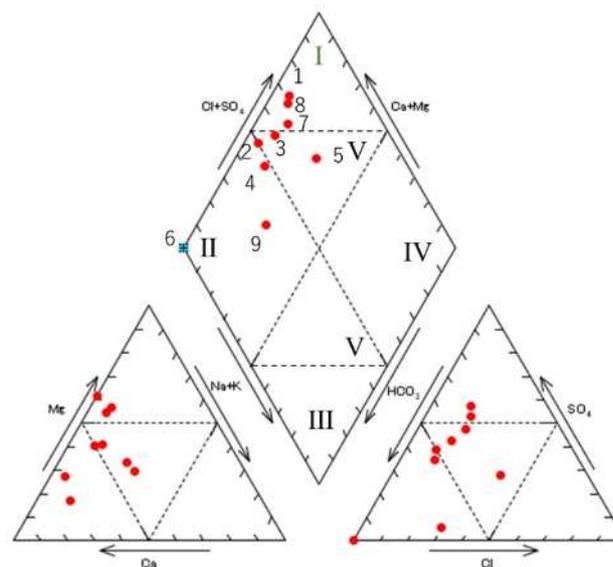


図 2 トリリニアダイアグラム



図 3 調査地点 (No.1~No.5、No.7、No.8) の土地条件



図 4 調査地点 (No.6) の土地条件



図 5 調査地点 (No.9) の土地条件

表 6 に金属濃度、大腸菌及び大腸菌群数の測定結果を記す。金属は微量であるがアルミニウムが検出され、その濃度は鉄と同程度であった。またケイ素は No.5、No.6、No.9 において比較的高い濃度を示したが、これらは入間川右岸の湧水であるため、右岸側の地質の影響を受けたものである可能性がある。大腸菌群数は全ての地点から検出されたが、温血動物の糞便汚染の指標である大腸菌は、No.3、No.4、No.6、No.9 で不検出であり、その他の地点では検出された。

表 6

水質測定結果

地点 No	Fe	Mn	Al	Si	大腸菌	大腸菌群
1	0.05	<0.01	0.07	6.3	12	610
2	0.06	<0.01	0.04	6.4	12	>5000
3	0.02	<0.01	0.03	5.8	<1	2
4	<0.01	<0.01	<0.01	5.8	<1	810
5	0.09	<0.01	0.04	13.5	8	>5000
6	0.03	<0.01	0.02	20.6	<1	5
7	<0.01	<0.01	0.01	7.9	10	700
8	<0.01	<0.01	<0.01	6.0	1	138
9	<0.01	<0.01	<0.01	17.6	<1	1

金属の数値の単位は mg/L

大腸菌・大腸菌群数の単位は CFU/100ml

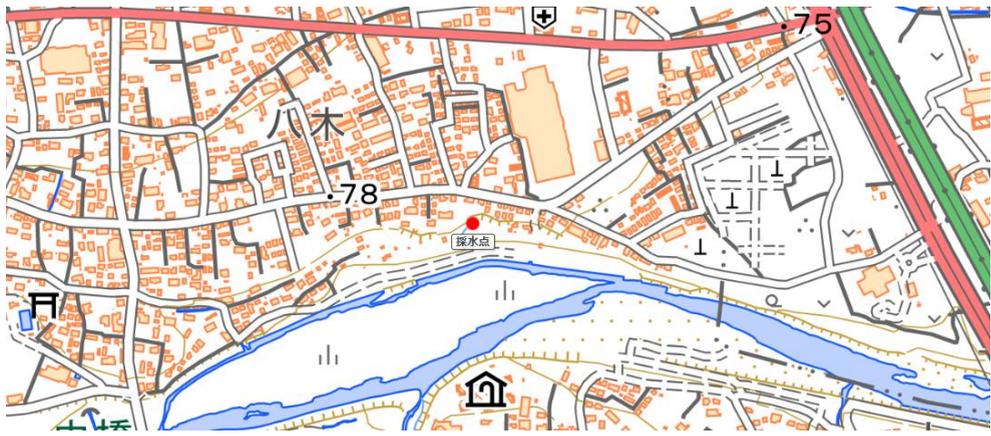
< 資料 >

現地調査記録票

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 13:20～13:34				
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]			地点番号 1
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]			
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 谷田の泉	
所在地	入間市野田地内 <u>公有地</u> ・民有地（民家・会社・寺社・山林・その他）・不明				
緯度経度	[N 35° 50' 52.3"] [E 139° 21' 10.3"]				
周辺の状況	地質	段丘堆積物			
	地形	更新世段丘			
	植生など	植林地、耕作地植生			
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など ・市が管理している湧水である。 ・採取地点は通常時立入禁止。			
利用状況	農業用水・池・ <u>雑用水</u> ・飲用水・その他[]・利用なし・不明				
湧水量	目視	<u>多い</u> ・少ない・しみ出す程度・湧出見られず・不明			
	測定	測定場所[水路] 湧水量[116]リットル/分 測定方法 容器計量			
採水	<u>可</u> ・否	採水場所[水路]			
水質測定	気温	15.0 °C	臭気	無臭	
	水温	17.93 °C	pH	6.25	
	透視度	>100cm	EC	18.21	
	色	無色透明	ORP	286	
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等				
					
<small>地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を</small>					

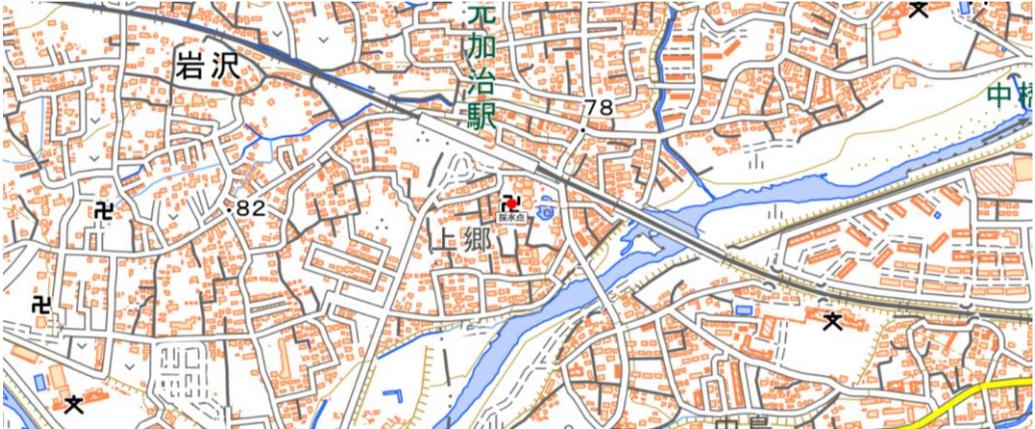
令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 13:48～14:00			
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]		地点番号 2
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 野田河川公園の湧水
所在地	入間市野田地内 <u>公有地</u> ・民有地（民家・会社・寺社・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 50' 36.6"] [E 139° 21' 38.1"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	更新世段丘		
	植生など	植林地、耕作地植生		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 市が管理している公園内の湧水 採取地点付近にマムシに注意の看板がある		
利用状況	農業用水・池・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・ <u>不明</u>			
湧水量	目視	多い・ <u>少ない</u> ・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[蛇口] 湧水量[3.51]ℓ/分 測定方法 容器計量		
採水	<u>可</u> ・否	採水場所[蛇口]		
水質測定	気温	16.7 °C	臭気	無臭
	水温	18.33 °C	pH	7.43
	透視度	>100cm	EC	18.15
	色	無色透明	ORP	221
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等			
				
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を追加				

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 11:34～11:58			
天気	前日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		地点番号 3
	当日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 <input checked="" type="radio"/> 有・無 []			名称 滝不動の湧水
所在地	入間市野田地内 公有地・民有地（民家・会社・ <input checked="" type="radio"/> 寺社・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 50' 39.0"] [E 139° 20' 43.8"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	更新世段丘		
	植生など	-		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 滝不動尊の付近の崖から湧出し、崖下まで流れている 崖下に続く階段はもろくなっており、立入禁止		
利用状況	農業用水・ <input checked="" type="radio"/> 池・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・不明			
湧水量	目視	多い・ <input checked="" type="radio"/> 少ない・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[崖下の水路] 湧水量[2.32]ℓ/分 測定方法 容器計量		
採水	<input checked="" type="radio"/> 可・否	採水場所[崖下の水路]		
水質測定	気温	16.0 °C	臭気	無臭
	水温	19.27 °C	pH	6.28
	透視度	>100cm	EC	18.44
	色	無色透明	ORP	253
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等			
				
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を				

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 11:00～11:18			
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]		地点番号 4
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 円照寺の弁天池
所在地	入間市野田地内 公有地・民有地（民家・会社・ <u>寺社</u> ・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 50' 22.0"] [E 139° 20' 48.0"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	更新世段丘		
	植生など	-		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 円照時境内にある弁天池の水源が湧水であり、池への流入元で採水を実施		
利用状況	農業用水・ <u>池</u> ・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・不明			
湧水量	目視	多い・ <u>少ない</u> ・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[池への流入元] 湧水量[4.96] ^{リットル} /分 測定方法 流量換算		
採水	<u>可</u> ・否	採水場所[池への流入元]		
水質測定	気温	12.0 °C	臭気	微川藻臭
	水温	18.55 °C	pH	6.39
	透視度	>100cm	EC	20.4
	色	無色透明	ORP	258
	溶存酸素 (DO) 4.57 mg/L			
位置図写真等	採水地点が分かる図面等 			
	地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を			

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 10:07～10:16				
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]			地点番号 5
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]			
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 ホタルの里	
所在地	入間市牛沢町地内 <u>公有地</u> ・民有地（民家・会社・寺社・山林・その他）・不明				
緯度経度	[N 35° 50' 20.7"] [E 139° 22' 23.6"]				
周辺の状況	地質	段丘堆積物			
	地形	更新世段丘			
	植生など	ヤブツバキクラス域代償植生			
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 上流からの湧水を下流でため池にし、希少植物等を保護している。			
利用状況	農業用水・ <u>池</u> ・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・不明				
湧水量	目視	多い・少ない・しみ出す程度・湧出見られず・ <u>不明</u>			
	測定	測定場所[水路の下流側] 湧水量[3] ^{リットル} /分 測定方法 容器計量			
採水	<u>可</u> ・否 採水場所[水路の下流側]				
水質測定	気温	9.5 °C	臭気	無臭	溶存酸素 (DO) 10.12 mg/L
	水温	7.50 °C	pH	7.53	
	透視度	>100cm	EC	19.3	
	色	無色透明	ORP	210	
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等 				
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を					

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 10:35～10:47				
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]			地点番号 6
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]			
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 醤油屋の池	
所在地	入間市下谷ヶ貫地内 <u>公有地</u> ・民有地（民家・会社・寺社・山林・その他）・不明				
緯度経度	[N 35° 49' 21.5"] [E 139° 20' 45.4"]				
周辺の状況	地質	段丘堆積物			
	地形	山地斜面等			
	植生など	植林地、耕作地植生			
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 市の農村環境改善センターの敷地内にある池 塩ビ管から湧水が出ている			
利用状況	農業用水・ <u>池</u> ・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・不明				
湧水量	目視	多い・ <u>少ない</u> ・しみ出す程度・湧出見られず・不明			
	測定	測定場所[塩ビ管] 湧水量[1.66]ℓ/分 測定方法 容器計量			
採水	<u>可</u> ・否 採水場所[塩ビ管]				
水質測定	気温	13.1 °C	臭気	無臭	
	水温	14.66 °C	pH	6.25	
	透視度	>100cm	EC	7.86	
	色	無色透明	ORP	189	
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等				
					
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を追加					

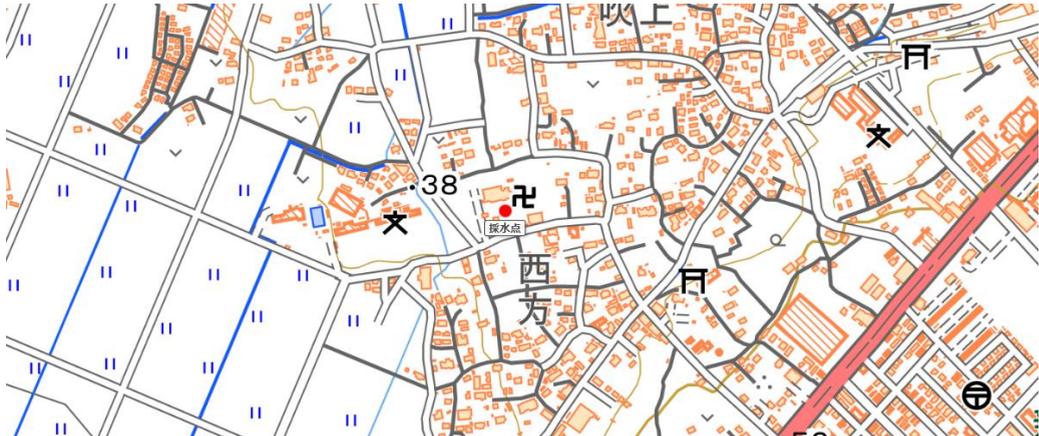
令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 14:20～14:25			
天気	前日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		地点番号 7
	当日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 []			名称 滝不動尊（一時水）
所在地	狭山市笹井地内 公有地・民有地（民家・会社・ <input checked="" type="radio"/> 寺社・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 51' 21.4"] [E 139° 22' 26.6"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	山地斜面等		
	植生など	植林地、耕作地植生		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 滝不動尊脇に流れる湧水 住宅街にあり、車での訪問は不可		
利用状況	農業用水・池・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・ <input checked="" type="radio"/> 不明			
湧水量	目視	<input checked="" type="radio"/> 多い・少ない・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[不動尊横] 湧水量[84]ℓ/分 測定方法 容器計量		
採水	<input checked="" type="radio"/> 可・否	採水場所[不動尊横]		
水質測定	気温	15.4 °C	臭気	無臭
	水温	17.69 °C	pH	5.99
	透視度	>100cm	EC	17.98
	色	無色透明	ORP	267
位置図 写真等	採水地点が分かる図面等			
				
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を追加				

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 13:00～13:10			
天気	前日	晴れ・ <u>くもり</u> ・雨・[]		地点番号 8
	当日	<u>晴れ</u> ・くもり・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <u>無</u> []			名称 野田の湧水
所在地	入間市野田1543付近 <u>公有地</u> ・民有地（民家・会社・寺社・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 50' 41.6"] [E 139° 20' 50.5"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	更新世段丘		
	植生など	植林地、耕作地植生		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 事業所の裏に湧出箇所があり、市が管理する水路に流れ出ている		
利用状況	農業用水・池・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・ <u>不明</u>			
湧水量	目視	多い・ <u>少ない</u> ・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[水路] 湧水量[0.78] ^ℓ /分 測定方法 容器計量		
採水	<u>可</u> ・否	採水場所[水路]		
水質測定	気温	15.9 °C	臭気	無臭
	水温	19.02 °C	pH	6.56
	透視度	>100cm	EC	19.50
	色	無色透明	ORP	276
溶存酸素 (DO) 8.16 mg/L				
位置図写真等	採水地点が分かる図面等 			
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を追加				

令和2年度 湧水地保全に係る調査

調査日時	令和2年11月30日（月） 9:30～9:42			
天気	前日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		地点番号 9
	当日	晴れ・ <input checked="" type="radio"/> 曇り・雨・[]		
調査者	埼玉県水環境課 2名 埼玉県環境科学国際センター 2名 市町職員の同行 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 []			名称 広福寺
所在地	狭山市下奥富844 公有地・民有地（民家・会社・ <input checked="" type="radio"/> 寺社・山林・その他）・不明			
緯度経度	[N 35° 52' 42.9"] [E 139° 25' 31.5"]			
周辺の状況	地質	段丘堆積物		
	地形	更新世段丘		
	植生など	-		
	その他	水路・川への流入、池・湿地など、保全の状況、ゴミの散乱状況など 境内に池が複数あり、池の水はくみ上げた地下水である		
利用状況	農業用水・ <input checked="" type="radio"/> 池・雑用水・飲用水・その他[]・利用なし・不明			
湧水量	目視	多い・ <input checked="" type="radio"/> 少ない・しみ出す程度・湧出見られず・不明		
	測定	測定場所[蛇口] 湧水量[2.4]ℓ/分 測定方法		
採水	<input checked="" type="radio"/> 可・否	採水場所[蛇口]		
水質測定	気温	9.1 °C	臭気	無臭
	水温	17.29 °C	pH	7.02
	透視度	>100cm	EC	23.0
	色	無色透明	ORP	244
	溶存酸素 (DO) 4.44 mg/L			
位置図写真等	採水地点が分かる図面等 			
地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/#17/35.847387/139.308502) に凡例を				

No.1 谷田の泉 (入間市野田)



No.2 野田河川公園の湧水（入間市野田）



No.3 滝不動の湧水（人間市野田）



No.4 円照寺の弁天池(入間市野田))



No.5 ホタルの里 (入間市牛沢町)



No.6 醤油屋の池（入間市下谷ヶ貫）



No.7 滝不動尊【一時水】(狭山市笹井)



No.8 野田の湧水（入間市野田）



No.9 広福寺(狭山市下奥富)



令和2年度 湧水地調査報告書

令和4年3月

埼玉県環境部 水環境課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番地1号

電話 048-830-3084



埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」